

令和元年度全国学力学習状況調査の結果を受けて

【師崎中学校の主な傾向とその対策】

(1) 各教科の結果

- 国語においては、全体として県・全国平均を下回っている。
 - ・「話す・聞く能力」は県・全国平均並みである。
 - ・「書く能力」は、県・全国平均を下回っている。
 - ・「読む能力」は、県・全国平均を大きく下回っている。
 - ・「言語についての知識・理解・技能」は、県・全国平均を下回っている。
- 数学においては、全体として県・全国平均を下回っている。
 - ・「数と式」は、県・全国平均を下回っている。
 - ・「図形」は、県・全国平均を下回っている。
 - ・「関数」は、県・全国平均を上回っている。
 - ・「資料の活用」は、県・全国平均を下回っている。
- 英語においては、全体として県・全国平均を下回っている。
 - ・「聞くこと」「読むこと」は、県・全国平均を下回っている。
 - ・「書くこと」は、県・全国平均を大きく下回っている。
 - ・「話すこと」は、全体として県・全国平均並みである。

(2) 質問紙の結果

〈好ましい傾向〉

- ・部活動に意欲的に参加していた生徒が多い。
- ・地域の行事に参加し、地域の方と触れ合うことを大切にしている。
- ・地域や社会をよくするためにできることについて考えている生徒が多い。
- ・ICT機器をよく使用しており、適切に活用できる。
- ・国語、数学、英語の学習の意義を理解し、将来役立てていきたいと考えている。

〈改善が望まれる傾向〉

- ・難しいと思われることに、チャレンジしようとする意欲が低い。
- ・学校に行くのを楽しんでいると感じていない生徒が比較的多い。
- ・授業や学級活動における話し合い活動において、自分の考えをあまり深められない。
- ・自分の考えを話したり書いたり、文章を読んだりする力が弱い。
- ・英語の授業が好きな生徒やよくわかると感じている生徒が少ない。



(3) 今後の対応

〈国語について〉

- ・「読む能力」の向上を目指して、家庭学習や昼学習に、読み取る課題を多く取り入れる。
- ・家庭学習や昼学習を生かして、漢字の読み書きなど言語の力を伸ばす。

〈数学について〉

- ・授業、家庭学習、昼学習の流れをうまく生かし、「数と式」「図形」「資料の活用」の育成を図る。
- ・コース別授業をさらに充実させ、個に応じた指導を行う。

〈英語について〉

- ・授業、家庭学習、昼学習の流れをうまく生かし、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の育成を図る。特に「書くこと」が低いので、聞きとった英語を書いたり、語句を並べ替えて分を完成させたりして、英語の仕組みを理解させる指導を継続的に行う。

〈他〉

- ・文化祭などの学校行事、生徒会活動等を生かして、学級のまとまりを強め、楽しいと感じられる学校生活にしていく。
- ・今後も「学力向上」「家庭・地域との連携」「小中連携」を具体的に行い、9年間、一貫した指導を切れ目なく、継続してできるような学校教育を進めていく。

